

令和3年度 事業計画

基本方針

昨年は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、私達がこれまで常識としてきた暮らしが一変しました。当センターにおいても、感染を警戒して人との接触を忌避する市民感情や景気の低迷による受注減少、感染を危惧し人と触れ合う仕事を断る会員が出るなど、事業全体に大きな影響が出ました。

国内において、ワクチン接種が始まりましたが、いまだ感染収束の目途は立たず、当分は新型コロナウイルスと共存する「新しい生活様式」社会に対応したシルバー事業の展開が求められます。こうした情勢を踏まえ、本年度は「人生100年時代」に意欲的にチャレンジする高齢者を支援する魅力的なセンターとして、会員・顧客の「満足度」及び地域社会への「貢献度」の向上を目指し、次のことを重点に、さまざまな取り組みを会員・役職員が一丸となり進めてまいります。

第一は、「**会員の増強**」です。

少子高齢化がますます加速する今日、元気な高齢者が地域社会の課題解決の担い手となって活躍するシルバー事業は、一層その役割が重要となります。こうした役割を担うセンターの存在感を高めるには、事業の拡大や地域貢献活動など目に見える実績とともに、会員規模の拡大も極めて重要です。地域社会のさまざまな需要に対し「必要な時、必要なだけ、必要なサービス」を提供するには、それらに応じられる会員（人財）が必要なため、会員の拡大に全力で取り組みます。

第二は、「**新しい生活様式に対応した就業機会の拡大**」です。

コロナ禍においても、人々が暮らし続けるには、そこに必ず新たな仕事の需要はあるはずです。変化する社会の多方面にアンテナを張り、注意深く観察することでシルバー事業にふさわしい「仕事の芽」に気づくはずです。そうした気づきにより「新しい生活様式」社会の需要を捉え、就業開拓を強化することで、会員の就業機会の拡大を図ります。

第三は、「新型コロナウイルス感染防止対策及び安全・適正就業の徹底」です。

新型コロナウイルス感染症は、高齢者ほど重篤化しやすいと言われていることから、感染防止対策を徹底します。就業先はもちろん、日常生活においても感染防止対策の励行を徹底するよう啓発を強化し、センター関係者の健康確保に取り組みます。加えて、シルバー事業の根幹をなす「安全・安心なシルバー事業」確立のため、組織を挙げて就業に伴う事故の撲滅に取り組みます。

第四は、「社会の変化に対応する事務局体制の強化・改編と「次期経営計画」の策定」です。

変化が早く多様化する社会の需要に応じ、シルバー事業を発展させていくには、環境の変化を見据えた事務局体制の強化・改編が不可欠です。昨年理事会において決定された新事務局体制に令和4年度から移行しますが、この移行が円滑に行われ、体制改編効果を早期に発現するよう準備を進めます。合わせて、今年は今期「経営計画」の最終年度ですので、期間中の事業総括を行うとともに、その結果を踏まえて「次期経営計画」の策定を行います。

[重点項目]

- 1 会員の増強
- 2 新しい生活様式に対応した就業機会の拡大
- 3 新型コロナウイルス感染防止対策及び安全・適正就業の徹底
- 4 社会の変化に対応する事務局体制の強化・改編と「次期経営計画」の策定

事業実施計画

I 会員の増強

① 1 会員 1 人新規会員募集活動の展開

- ・会員による友人、知人等への口コミによる新規会員の入会活動を行います。
また、この活動を促進する取り組みについて、他センターの成功事例を研究します。

② 入会説明会等の強化

- ・センターの基幹事業である請負・委任事業のほか、派遣事業や職業紹介事業等の多様な働き方に伴う関係法令の遵守など十分理解していただくため、入会説明会における説明時間やマニュアルの見直しを図ります。
- ・ウイズコロナ、アフターコロナを念頭に、Webを活用した入会案内、入会申込みの検討を行います。

③ 「夫婦会員制度」による入会促進

- ・夫婦で入会する場合の特典を積極的にPRし、入会促進を図ります。

④ 女性会員の入会促進

- ・女性会員の確保に重点的に取り組むため、女性限定説明会やイベント等の開催を継続します。
- ・事務局と女性部会が連携し、地域の実情に応じた女性会員の更なる拡大に取り組めます。

⑤ 「出張窓口」の開催

- ・就業ニーズや地域における会員の在籍状況を分析し、未会員地域や会員不足地域の解消のため、該当地域へ出向き入会説明会及び就業相談会を実施します。

⑥ 退会抑制の取り組み

- ・未就業会員への就業相談及び就業促進の強化を図ります。
- ・高齢や健康状態により就業を望まないが、生きがいなど社会貢献活動等、就業以外の活動を希望する会員へは、積極的にプラチナ会員を勧めることにより退会の抑制に努めます。

⑦ 人手不足分野における後継者の育成

- ・60歳以上の市民や新たに剪定・冬囲いなど人手分野不足の職種を希望する既存会員に向けて、就業体験講習を実施し、併せて職群班の内容紹介を行い、参加者の就業意欲を高め

るなど後継者の育成を図ります。

⑧ 普及啓発活動の展開

- ・広報「シルバーながおか」の発行や各地域の広報紙への掲載、また新聞・テレビ・FMながおか、アオーレ長岡の市民窓口における電子広告等など、マスメディア等を通じてセンターのPRと入会促進を図ります。
- ・普及啓発促進月間（10月）において、各種ボランティア活動を実施し、集中的に広報活動を展開します。
- ・「シルバー感謝祭」を開催し、市民に対し感謝の意を伝えるとともに、市民向けの就業相談会や入会希望者の受付等により、シルバー事業の積極的なPRを行います。

⑨ 関係機関・関係団体との連携強化

- ・センターが地域社会の一員として存在意義を高めていくため、ボランティア等の社会参加活動のほか、地域の課題解決につながる活動ができるよう、日頃から市や商工会議所及び介護・福祉関係団体等との連携を強化し、地域貢献に取り組みます。
- ・ハローワークや商工会議所等と連携し、高齢求職者を対象とした就業相談や企業定年退職（予定者）層の勧誘等により入会促進を図ります。

II 就業機会の拡大

① 就業開拓の推進

- ・年間通じて全会員による1会員1就業開拓活動を実施します。
また、この活動を促進する取り組みについて、他センターの成功事例を研究します。
- ・過去に受注のあった発注者へ訪問活動を行います。
- ・企業等の業務内容や暮らしの需要をあらかじめ把握し、高齢者の経験や体力に見合った業務をセンターから提案するビジネスマインドの営業を行うなど、新規就業開拓に努めます。
- ・ハローワークと連携し、求人情報をもとにセンターが引き受け可能な業務の新規事業所を訪問し、就業開拓に努めます。
- ・空き家・空き地管理、お墓サポート、学校等消毒作業など、新たな生活様式（ニューノーマル）社会の需要を見据えて、新規就業開拓に努めます。

② 職群班の応援体制の強化

- ・発注者の多様なニーズに応えるため、事務所間の応援体制を強化し、広域的な受注を促進します。また、広域就業に伴う交通費等を配慮した配分金基準の見直しを行います。

③ 新規事業の開拓

- ・ホワイトカラー層会員の増加に対応するため、入会時や会員状況調査で会員の得意分野を把握し、事務系職種や施設管理等の新規事業の開拓に努めます。
- ・成長分野（医療、健康福祉、IT関連など）における就業は、地域社会に対する貢献度が高く、高齢者の多様な就業機会の確保につながるものであるため、新たな業務の発掘など積極的な推進を図ります。
- ・長岡北スマート流通団地への進出企業など、今後新たな就業が見込まれる企業に対して、積極的にシルバー事業の情報提供を行い、新規就業開拓に努めます。

④ 独自事業の推進

- ・就学支援の一環として無償提供を受けた学生服の販売による「サンアール」事業を継続します。
- ・地域の伝統文化である「てまり」、「しめ縄」等の講習会などを実施し、後継者育成と事業拡大に努めます。
- ・独自事業は、センターの活性化につながると同時に、そこには多種多様な仕事生まれる可能性があります。いくつになっても会員が活躍できる場となり得ることから、今後、地域のニーズや他センターの成功事例等を調査・研究してまいります。

⑤ シルバー派遣事業の拡大

- ・人手不足分野や介護及び育児等の現役世代を支える分野は、高齢者が当該分野の担い手として活躍することが期待されているため、シルバー派遣事業を積極的に推進し、地域産業や市民の暮らしを下支えします。

Ⅲ 安全・適正就業の推進

① 安全就業の徹底

- ・「安全・安心なシルバー事業」の確立を図るため、「安全就業ニュース」などを活用し、事故事例等を「他人ごと」ではなく、「自分ごと」として認識するよう、安全意識の徹底とその高揚を図ります。
- ・安全就業対策等について、定期的な職群班会議や事故防止のための研修会を設けることで、確実に職群班等に伝わり、実行できる仕組みを確立します。
- ・事務局と職群班との連携を強化し、どんな些細な事故でも職群班全体による分析及び再発防止策を講じ、事故防止に努めます。
- ・就業前の安全ミーティングを必ず行い、体調確認、作業手順など作業に潜む危険の認識、安全装備、機材など使用の確認を行う「作業前チェックリスト」の活用を義務付けます。
- ・就業上の安全確保並びに安全就業に対する意識の醸成を図るため、安全対策員や職員によ

る定期的な就業現場の巡回パトロールを実施し、安全就業の指導に努めます。

- ・機械除草作業において、飛び石事故を防ぐため、職群班へ貸与している防護ネットの使用義務化を強化し、事故防止に努めます。
- ・運転業務においては年齢制限を徹底するほか、安全講習及び実技指導等により安全運転の強化を図ります。また、同乗者による誘導により、後進時や車庫入れ時等の事故防止を図ります。

② 感染防止対策の徹底と健康の確保

- ・新型コロナウイルス感染防止のため、事務所内への消毒液の設置や換気の徹底、リーフレットやお知らせ版を活用した感染防止対策の啓発強化等、総力を挙げ感染防止に努めます。
- ・高齢者の就業に関して、センター事務局や会員が取り組む方策を提示した就業ハンドブック等を活用するなどし、フレイル（加齢による心身の老い衰えた状態）予防を含めて会員の健康の確保に努めます。
- ・会報や広報紙、ホームページなどを活用し、年間を通して季節ごとにテーマを定め、会員の健康管理に関する注意喚起などの啓発を行うとともに、毎年の健康診断を奨励します。

③ リーダー研修会の開催

- ・リーダー、サブリーダーを対象にしたリーダー研修会を開催し、作業前のミーティングによる危険予知の徹底や安全用具の点検及び着用を徹底し、安全就業対策を強化します。

④ 安全・適正就業推進大会の開催

- ・「安全・適正就業推進大会」を開催し、会員の事例発表や講演により、会員一人ひとりの事故防止に対する意識を高揚させ、事故の未然防止に努めます。

⑤ 適正就業の推進

- ・適正な就業を確保するため、「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」や「発注者向けパンフレット」を活用しながら、発注者にシルバー事業の理解を得た上で適正な就業の確保に努めます。

⑥ 会員の資質向上及びマナーアップ

- ・職群班の就業に則した技能講習会や勉強会を開催し、新たな就業会員の確保を図るとともに、更なる技術の向上を目的としたスキルアップ研修会等を開催します。

- ・近年センターへの就業依頼は、「高齢者に対する福祉的な依頼」から、「対価に見合う成

果を求める依頼」へと変化してきています。こうした変化に対応して、シルバー事業を
発展させていくには、「会員の就業意識の変革」が求められます。「安心・信頼・親切」、
「正確・丁寧・迅速」を常に心掛け、全力で受託した仕事に臨む必要があります。変化
する顧客の思いに即し、その満足度を高めるため、接遇講習会の開催や就業リーフレッ
ト等の活用により、会員の意識変革サポート、マナーアップ及び就業スキルの向上を図
ります。

⑦ 適正な料金基準の運用

- ・請負・委任業務においては、作業量、作業難易度など明確な基準に基づく料金となるよ
う現基準を見直します。
- ・派遣業務においては、「労働者派遣法」の施行に伴う「同一労働同一賃金」の主旨に沿い、
派遣先の協力を得ながら適正な待遇等での就労を進めます。

⑧ 長期就業の是正

- ・就業年限に基づいたワークシェアリング（仕事の分かち合い）を推進し、就業機会の公
平化、適正化を図ります。

IV 運営体制の充実・強化及び「次期経営計画」の策定

① 業務体制・組織の活性化・最適化

- ・理事会をはじめ、専門部会等の活性化を図り、会員参加による積極的なセンター運営を目
指すとともに、組織経営の最適化を図ります。
- ・センターの更なる発展を目指し、先進地の視察研修等を行い組織運営の参考とします。

② 会員組織（地域班・職群班）の活性化及び充実

- ・地域班活動の低迷や活動参加者が固定化している現状から、地域毎の課題を踏まえた上で、
特定の会員に負担が集中することなく、会員皆の活動参加意欲を向上させる方策を検討
し、地域班の活性化を図ります。また、センター運営の基本である「自主・自立、共働・
共助」の理念に基づき、会員皆で支え合う重要性をさまざまな機会を通して会員へ周知徹
底することで、会員のセンター帰属意識を高めます。
- ・職群班長会議や班交流会を定期的に行い、会員間の連携、職群班の強化に努めます。
更に、職群班ごとの自主的な各種講習会・ボランティア活動などを支援し、地域社会の担
い手としての会員の意識の高揚を図ります。
- ・職群班の育成が不十分な地域や分野においては、会員と職員が連携して職群班の育成に取り
組みます。

③ 事務局体制の強化・改編

- ・令和4年度から実施する新しい事務局体制に円滑に移行できるよう、ハード、ソフト両面において準備を進めます。また、会員、顧客及び関係機関に対し、組織改編に伴う必要情報を適宜発信します。
- ・コロナ禍において、デジタル社会への変革が急速に進行していることから、シルバー事業においてもICTの活用等新たな業務執行のあり方を検討し、可能なものから導入し、業務の効率化、経費の削減及び会員、顧客へのサービス向上に努めます。
(例えば、TV会議システムの導入。OCR機器等の導入検討)
- ・ウイルス感染等による危機管理上の観点から、リモートワークの導入を検討します。

④ 職員の資質向上

- ・シルバー事業の職種拡大及びウイズコロナ、アフターコロナといった社会の大きな変化に伴い、それに対応する職員にもより高い知識、情報収集能力及び行動力が求められることから積極的に研修等を受講させ、業務遂行能力の高い職員の育成に努めます。

⑤ 次期経営計画の策定と財政基盤の確立

- ・今年度中に第3次経営計画（令和4年度～令和8年度）を策定し、健全かつ安定した事業運営や財政見通しを踏まえ、会員及び地域社会に貢献する「公益法人」として持続可能なセンターを目指します。
- ・会員の希望と地域の暮らしや産業の需要を適時、的確に捉えた就業開拓の積極的な推進により、自主財源の確保に努めます。
なお、組織運営全般の改善を不断に行い、経費の一層の節減に努めます。
- ・国、市の補助金確保のため、さまざまな機会を通して要望活動を行います。